|  |
| --- |
| **４５４４．積荷目録事前報告訂正** |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＣＡＭ | 積荷目録事前報告訂正呼出し |
| ＣＡＭ０１ | 積荷目録事前報告訂正 |

１．業務概要

「積荷目録事前報告（ＡＤＭ０１）」業務または「積荷目録事前報告訂正（ＣＡＭ０１）」（以下、ＡＤＭ０１業務等という。）により登録された積荷目録事前報告情報の訂正及び削除を行う。

また、税関に対して到着便単位に積荷目録の事前報告の追加を行う。

（１）「積荷目録事前報告訂正呼出し（ＣＡＭ）」業務の場合

ＡＤＭ０１業務等により登録された積荷目録事前報告情報を呼び出す。

（２）「積荷目録事前報告訂正（ＣＡＭ０１）」業務の場合

（Ａ）追加（処理識別：スペース）

積荷目録の事前報告の追加を行う。

（Ｂ）訂正（処理識別：Ｃ）

ＡＤＭ０１業務等により登録された積荷目録事前報告情報に対し、訂正を行う。

（Ｃ）削除（処理識別：Ｄ）

ＡＤＭ０１業務等により登録された積荷目録事前報告情報に対し、削除を行う。

２．入力者

航空会社

３．制限事項

（１）ＣＡＭ業務の場合

１業務で入力可能なＡＷＢ番号の件数は、最大１０件とする。

（２）ＣＡＭ０１業務の場合

①１業務で入力可能なＡＷＢ番号の件数は、最大１０件とする。

②１到着便で登録可能なＡＷＢ番号の件数は、最大５００件とする。

③スプリットの登録は、最大３０便とする。

④１ＡＷＢ番号に対して登録可能な到着空港数は、最大５空港とする。

４．入力条件

（１）ＣＡＭ業務の場合

（Ａ）入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②入力された到着便名に対してＡＤＭ０１業務等を行った報告者＊１と同一であること。

（＊１）ＡＤＭ０１業務の実施時に航空通信回線を利用して登録された情報については、ＡＤＭ０１業務にて入力した航空会社（便名先頭２桁）において、予め空港単位に登録された利用者とする。

（Ｂ）入力項目チェック

（ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｃ）航空事前便情報ＤＢチェック

①入力された到着便名に対する航空事前便情報が航空事前便情報ＤＢに存在すること。

②入力された到着便名に対して、ＡＤＭ０１業務等が行われていること。

（Ｄ）航空事前情報ＤＢチェック

①入力されたＡＷＢ番号に対する積荷目録事前報告情報が航空事前情報ＤＢに存在すること。

②入力されたＡＷＢ番号の積荷目録事前報告情報に登録されている到着便名と入力された到着便名が同一であること。

（２）ＣＡＭ０１業務の場合

（Ａ）入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②入力された到着便名に対してＡＤＭ０１業務等を行った報告者＊１と同一であること。

（Ｂ）入力項目チェック

（ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｃ）ＡＷＢ番号チェック処理

追加（処理識別：スペース）の場合、入力されたＡＷＢ番号が以下の条件を満たす場合は、チェックを行う。

①ＡＷＢ番号が１０桁または１１桁で、かつ一連番号部（４～９または１０桁目）が数字である。

②本業務によりチェックデジット・チェック不要の旨が入力されていない。

・チェックデジット・チェック方法

一連番号部を７で除し、その余りとチェックデジットの数値が等しいことをチェックする。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | | |  | | | | | | | | | | | | | | | | |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

ａ ｂ ｃ

ａ：プリフィックス部（３桁）

ｂ：整数の一連番号部（６～７桁）

ｃ：チェックデジット（１桁）

ｂ÷７＝α余りβ

β＝ｃ（β≠ｃはエラー）

図　チェックデジット有りのＡＷＢ番号構成

（Ｄ）航空事前便情報ＤＢチェック

訂正（処理識別：Ｃ）または削除（処理識別：Ｄ）の場合は、以下のチェックを行う。

①入力された到着便名に対する航空事前便情報が航空事前便情報ＤＢに存在すること。

②入力された到着便名に対して、ＡＤＭ０１業務等が行われていること。

（Ｅ）航空事前情報ＤＢチェック

入力されたＡＷＢ番号に対して以下のチェックを行う。

（ａ）追加（処理識別：スペース）の場合

入力されたＡＷＢ番号に対する積荷目録事前報告情報が航空事前情報ＤＢに存在する場合は、登録されている到着便名と入力された到着便名が同一でないこと。

（ｂ）訂正（処理識別：Ｃ）または削除（処理識別：Ｄ）の場合

①入力されたＡＷＢ番号に対する積荷目録事前報告情報が航空事前情報ＤＢに存在すること。

②入力されたＡＷＢ番号の積荷目録事前報告情報に登録されている到着便名と入力された到着便名が同一であること。

５．処理内容

（１）ＣＡＭ業務の場合

（Ａ）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（Ｂ）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

（Ｃ）注意喚起メッセージ出力処理

ＣＡＭ０１業務を行うには再送信が必要な旨を注意喚起メッセージとして出力する。

（２）ＣＡＭ０１業務の場合

（Ａ）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（Ｂ）航空事前便情報ＤＢ処理

（ａ）追加（処理識別：スペース）の場合は、以下の処理を行う。

①入力された到着便名に対する航空事前便情報が航空事前便情報ＤＢに存在しない場合は、航空事前便情報を作成する。

②入力された到着便名に対する航空事前便情報が航空事前便情報ＤＢに存在する場合は、入力されたＡＷＢ番号の件数を加算する。

（ｂ）削除（処理識別：Ｄ）の場合は、以下の処理を行う。

入力されたＡＷＢ番号の件数を減算する。

（Ｃ）航空事前情報ＤＢ処理

（ａ）追加（処理識別：スペース）の場合は、以下の処理を行う。

①入力されたＡＷＢ番号に対する積荷目録事前報告情報が航空事前情報ＤＢに存在しない場合は、積荷目録事前報告情報を作成する。

②入力されたＡＷＢ番号に対する積荷目録事前報告情報が航空事前情報ＤＢに存在する場合は、入力された到着便名に対する積荷目録事前報告情報を追加する。

（ｂ）訂正（処理識別：Ｃ）の場合は、以下の処理を行う。

入力されたＡＷＢ番号及び到着便名に対する積荷目録事前報告情報を更新する。

（ｃ）削除（処理識別：Ｄ）の場合は、以下の処理を行う。

入力されたＡＷＢ番号及び到着便名に対する積荷目録事前報告情報を削除する。

（Ｄ）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

６．出力情報

（１）ＣＡＭ業務の場合

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| 積荷目録事前報告訂正呼出し結果情報 | なし | 入力者 |

（２）ＣＡＭ０１業務の場合

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| 積荷目録事前報告情報 | 以下の条件をすべて満たすとき、出力する  （１）追加を行うＡＷＢ番号が存在する  （２）入力された到着便名に対してＡＤＭ０１業務等が行われていない | 入力者 |
| 積荷目録事前報告訂正情報 | 訂正を行うＡＷＢ番号が存在する場合 | 入力者 |
| 積荷目録事前報告取消情報 | 削除を行うＡＷＢ番号が存在する場合 | 入力者 |